

たかくらっ子だより

発行責任者 渡辺 博明 発行日：令和4年3月30日

学校教育目標：自ら未来を拓き、共によりよく生きる子どもを育てる



HPのQRコード

みんなの夢を
応援し続けます

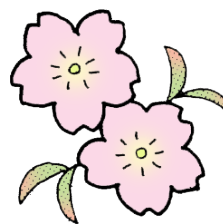


令和4年3月23日。季節外れの銀世界に包まれながらも、無事、卒業式を挙行することができました。PTA役員の皆様、卒業生の保護者の皆様。ご多用の中、卒業証書授与式に、ご臨席を賜り、誠にありがとうございました。

6年生の姿には、学び舎を巣立つ自覚と、中学校へ向けての決意が感じられました。1～5年生も、6年生の思いに応えるかのように、精一杯の力で歌い、心を込めて別れの言葉を伝えました。

どんなことにも「全力」で取り組み、自分の気持ちに「率直」な6年生でした。そのよさを、中学校でもいかに発揮し、活躍することを心より願っています。

6年生のみなさん。高倉小学校は、これからもずっとずっと、みなさんの夢を応援し続けます。そして、心が疲れたとき、ふっと小学校を思い出したときは、いつでも遊びに来てください。高倉小学校は、いつだって、みなさんを温かく迎えます。改めて、卒業おめでとう！



2年間、ありがとうございました

令和3年度末人事異動で、本校からも総勢11名の職員が、退職、転出することとなりました。くわしくは、本日配付いたしました「人事異動のお知らせ」をご覧ください。

新任校長として赴任したあの日、「自分が一番の『たかくらっ子』になる」と決意して、門をくぐりました。あれから2年間、瞬間に時は過ぎました。保護者の皆様、地域の皆様のたくさんの「支え」に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

高倉の子ども達は、優しく、温かです。ニコニコ笑顔も、一生懸命なところも、ちょっぴり甘えん坊なところもみんな大好きでした。大好きな「たかくらっ子」に会えなくなるのは、寂しいのですが、心に刻んだ思い出は、決して消えることはありません。いつまでも「たかくらっ子」を応援しています。お元気で。



卒業証書授与式 校長式辞

今、卒業証書を手にした8名のみなさん、ご卒業おめでとうございます。この卒業証書には、みなさんの六年間の努力や思い出がたくさんつまっています。期待と不安に胸を膨らませて、入学したあの日から6年。心も体も大きく成長しましたね。

思い起こせば、皆さんは、5年生になってから、新型コロナウイルスの感染予防と共に過ごす日々でした。生活の制限は続き、楽しみにしていた行事も中止になったものもありました。残念な思いをさせたこと、申し訳なく思っていました。

しかし、6年生はいつも前向きでした。皆さんには「**全力**」と言う言葉がよく似合います。運動会、様々な記録会、他校と競い合った陸上競技交歓会でも、「**全力**」で練習に励みました。宿泊学習でも、仲間と共に「**全力**」で活動する姿を覚えています。

もう一つ、皆さんのよさは「**率直**」さです。自分の気持ちに、正直だということです。「**率直**」だからこそ、時に人とぶつかることもあったでしょう。でも、その経験の積み重ねがあるからこそ、人の痛みが分かる、人を受け入れる心が育ったのだと思います。

卒業に際し、皆さんに伝えたいことが2つあります。1つ目は、これからも「**学び続ける人**」であってほしいということです。「**学び続けること**」は、困難を乗り越える知性や感性を身に付けることでもあります。苦勞して学んだこと、感動と共に心に刻んだ記憶は、誰にも奪われることはありません。

ですから、自分自身を磨き、自分の「**夢**」を大切にしてください。人は、「**夢や希望**」がある限り、前に進むことができます。自分の可能性を信じて、学び続け、その未来を拓いてください。

2つ目は、「**人を大切にする人**」であってほしいということです。学び続けて手にした力は、誰かを支える力ともなります。人は、支え、支えられて生きています。だれかが倒れそうになったら、その手で支え、その肩を貸してあげてほしいのです。

そして、自分も、家族や仲間、地域の方々、先生方、たくさんの人に支えられていることを忘れず、「**感謝**」の気持ちを大切に生きてください。

この2つが、みなさんへ願うことです。

保護者の皆様、お子様のご卒業に際し、心からお祝いを申し上げます。本日、お子様を家から送り出す際、万感の思いがこみ上げたことと思います。産んでくださったこと、あの震災の中、必死に育ててくださったこと、そして、このすばらしい子ども達に出会わせてくださったことを心より感謝いたします。

これからお子様は中学生となり、様々な悩みにぶつかるかもしれません。そんな時こそ、心に寄り添い、温かく支えていただきますようお願いいたします。保護者の皆様が、いつまでも子ども達の最強の応援団であることを心から願っています。

そして、共に泣いたり、笑ったり、「**当たり前**」というかけがえのない日常を、これからも、お子様と共に大切にお過ごしください。

6年生が飛び立つ時は近付いてきました。みなさんの未来が、輝かしいものであることを願って、式辞といたします。

令和4年 3月 23日

郡山市立高倉小学校長 渡辺 博明

